

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 20 日

静岡県知事

鈴木 康友 殿

提出者

住 所 静岡県焼津市小川2710-1

氏 名 戸崎建設㈱ 代表取締役 戸崎 義人

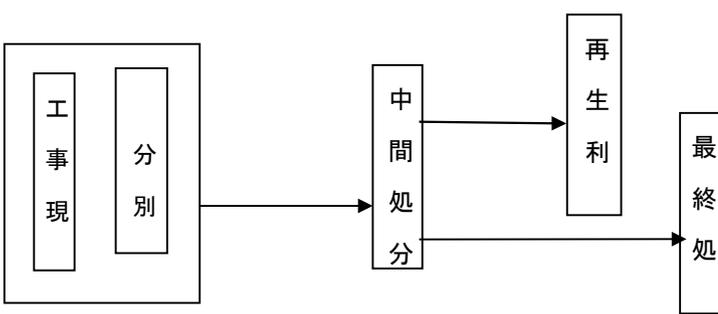
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 054-656-0088

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	戸崎建設株式会社
事業場の所在地	静岡県焼津市小川2710-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

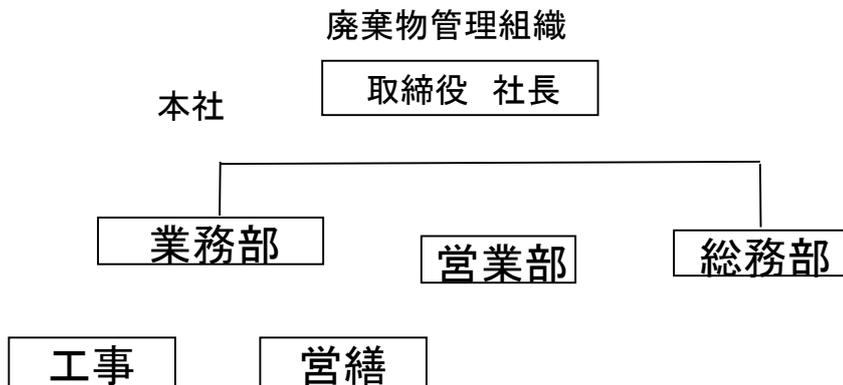
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	21億6千万円
③ 従業員数	29名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①に記載	
	排出量	4801.68 t	t
	(これまで実施した取組) 工事現場において発生する廃棄物をできるだけ分別し、処分している 事務所内で発生する廃棄物の再利用に心かけている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②に記載	
	排出量	4694 t	t
	(今後実施する予定の取組) 建設現場は、受注量、施工条件（既存建物解体）等により廃棄物の発生が増減するが、より一層の廃棄物の分別、処分を徹底する リサイクル製品の使用を心掛ける エコアクション21継続のため、今後も廃棄物削減を目指す 建設梱包資材の省略化 再利用の促進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底 過積載をしない
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も上記の取り組みを徹底していく

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①に記載	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①に記載	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①に記載	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行っていない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①に記載	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①に記載	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら海洋投入処分は行っていない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①に記載	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①に記載	
	全処理委託量	4801.68 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	18.684 t	t
	再生利用業者への処理委託量	4782.996 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・分別処分の徹底、指導		

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙②に記載		
	全処理委託量	4694	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	16	t	t
	再生利用業者への処理委託量	4678	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組) ・分別処分の徹底、指導 ・優良認定処理業者への委託を心がける			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

【前年度(令和5年度)の産業廃棄物発生量】

安 定 型		
(単位:t)		
種類	発生量	備考
コンクリート塊	536.836	
アスコン塊	3665.63	
その他がれき類	302.658	
ガラス・陶磁器くず	13.64	
廃プラスチック類	26.325	
混合(安定型のみ)	13.516	
石綿含有産業廃棄物	4.53	
金属くず	4.818	

優良	再生利用	認定熱	以外の熱
4.02			

管 理 型		
種類	発生量	備考
紙くず	0.09	
木くず	89.8	
繊維くず	0.834	
廃石膏ボード	55.43	
混合(管理型含む)	80.912	
汚泥	1.65	
水銀使用製品産業廃棄物	5.011	

優良	再生利用	認定熱	以外の熱
14.664			

合計	4801.68
----	---------

18.684	0	0	0
--------	---	---	---

別紙②

【今年度の産業廃棄物計画表】

安 定 型		
(単位:t)		
種類	発生量	備考
コンクリート塊	530	
アスコン塊	3600	
その他がれき類	300	
ガラス・陶磁器くず	10	
廃プラスチック類	23	
混合(安定型のみ)	10	
石綿含有産業廃棄物	2	
金属くず	2	

優良	再生利用	認定熱	以外の熱
3			

管 理 型		
種類	発生量	備考
紙くず	0	
木くず	85	
繊維くず	0	
廃石膏ボード	50	
混合(管理型含む)	78	
汚泥	1	
水銀使用製品産業廃棄物	3	

優良	再生利用	認定熱	以外の熱
13			

合計	4694
----	------

16	0	0	0
----	---	---	---